5年 2学期【国語】 主な評価規準

江戸川区立第二葛西小学校

単元	知識・技能	思考力·判断力·表現力	主体的に学習に取り組む態度
素朴な琴/ 鳴〈虫/山の あなた	比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。	詩に描かれた世界を具体的に想像したり, 比喩や反 復などの表現の効果を考えたりしている。	情景を想像したり、それが表れるように音読したりしながら、文語や歴史的仮名遣いで描かれた詩を味わっている。
	文語や歴史的仮名遣いなどの言葉の違いに気づいている。		
大造じいさんと がん	情景描写が効果的に使われていることを意識して,語彙を豊かにしている。	事実と感想とを区別して書くなど, 自分の考えが伝わる ように書き表し方を工夫している。	残雪に対する大造じいさんの行動や心情の移り変わりを想像しながら読み,最後に残雪を放した大造じいさんについて考えようとする。
		人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり, 表現の効果を考えたりしている。	
鳥	思考に関わる語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	鳥の出てくる言葉や歌, 俳句や短歌をノートに集め, 感じたり考えたりしたことを明確にしている。	いろいろな種類の鳥が出てくる言葉を集め,感じたり考えたりしたことをノートに書いている。
俳句を作ろう	語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して, 俳句 や短歌に使っている。	目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから 書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたり して、伝えたいことを明確にしている。	気持ちや様子が伝わるように、ぴったりの言葉を選んで 俳句や短歌を作っている。
A I とのくらし	原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。	対立する2つの立場から意見を述べ合う「ミニディベート」を行い、考えを広げたりまとめたりしている。	「ミニディベート」をとおして、テーマに対する2つの対立する考え方の、それぞれの長所や短所を話し合うことで自分の考えをまとめている。
熟語の構成	語句と語句との関係, 語句の構成や変化について理解し, 語彙を豊かにしている。		漢字二字の熟語の構成を理解し, 意味を推測したり, 漢字と熟語の理解を深めたりしている。
四年生で学ん だ漢字③		文章全体の構成や書き表し方などに着目して, 文や 文章を整えている。	絵の中の言葉と4年生で学んだ漢字をもとに、日本各地の様子を具体的に書いている。
世界遺産 白神山地からの提言一意見文を書ごう	原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	事実と感想,意見とを区別して書いたりして,白神山 地の課題について,自分の考えが伝わるように書き表 し方を工夫している。	白神山地の課題について, 自分の考えが伝わるように, 根拠となる資料を活用しながら意見文を書いている。
		白神山地の課題を考えるために,文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけている。	
		「ブナの森が支える豊かな自然」や「白神山地の自然保護」などの七つの資料を読んで、自分の考えをまとめている。	

「古典」を楽しむ	古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を理解している。	古典を読んだ感想など,自分の考えが伝わるように書 き表し方を工夫している。	昔から語り継がれている物語(古典)を読み, 読んだ 感想をまとめている。
かなづかいで 気をつけること	文や文章の中で仮名遣いに注意して正しく書いている。		仮名遣いで注意が必要なものを確かめて, 正しく表記 している。
漢字の成り立ち	語句の由来などに関心をもつとともに,漢字の由来, 特質などについて理解することができる。		漢字の成り立ちを理解し,他のいろいろな漢字の成り 立ちを調べようとする。
四年生で学ん だ漢字④	4年生で習った漢字を使って、文や文章を作っている。	文章全体の構成や書き表し方などに着目して, 文や 文章を整えている。	絵の中の言葉と4年生で学んだ漢字をもとに,地域の 様子を具体的に書いている。
雪わたり	比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。	人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり, 表現の効果を考えたりすることができる。	四郎やかん子, 紺三郎たちのかかわりを, 比喩や繰り返し, 言葉のリズムなど, 表現の工夫を考えながら読もうとする。
		文章を読んでまとめた意見や感想を共有し, 自分の考えを広げることができる。	
「図書すいせん会」をしよう	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。	読後の感想を共有し, 読書の幅を広げている。	「図書すいせん会」をとおして、自分の読書をふり返ったり、本のよさを友達に紹介したりしている。
言葉で伝え る, 心を伝え る	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気 づいている。	話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて,話 し手の考えを確かめ,自分の考えをまとめている。	
	原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	互いの立場や意図を明確にしながら話し合っている。	どのような言葉を選べばよいのか相手の立場を考え、自 分の気持ちを言葉で伝えようとしている。